

かすがい



市議会
だより

令和6年 第5回定例会 (11月28日～12月17日)

第 **132** 号
2025年(令和7年)2月

もくじ

議案の概要……………2
一般質問……………4

表紙写真募集中 詳しくは8ページへ



「成長」

以前市議会だよりにて採用された場所と同じ場所で撮影しました。
娘も大きくなり、シャボン玉を大きく膨らませることができるようになりました。

撮影者:渡辺 裕人 撮影場所:落合公園

議案の概要

今定例会では、令和6年度補正予算案4件のほか、条例案6件、一般議案8件、報告5件、人事案件2件が提出されました。また、請願1件が提出されました。（議案の中から一部ピックアップして掲載しています。）

第90号議案

令和6年度一般会計補正予算
(第11号)

【民間児童クラブ補助等】

補正額 2915万円

次世代育成支援対策は、次代の社会を担う子どもの健全な育成を図ることを目的としています。

今回、1クラスに常勤の支援員を2人以上配置した民間児童クラブへの民間児童クラブ運営費補助等として1779万5千円が、また、春日井市では公設の子どもの家よりも利用料金が低い民間児童クラブを利用される市内の保護者を対象に経済的負担の軽減を図るための補助が行われており、民間の利用者増加や利用料の値上げがあったことから、民間児童クラブ利用料補助として1136万2千円がそれぞれ追加補正されました。

【ふるさと納税推進】

補正額 7357万円

令和6年度は当初の想定を上回るふるさと納税寄附金を全国の方からいただきました。物価高騰の影響から全国的に日用品のお礼品に対して

可決

人気があり、年度末までにさらにふるさと納税寄附金が増えることが見込まれるため、お礼品代等必要な費用の補正が行われました。

【小中学校指導書購入等】

補正額 5500万円

概ね4～5年ごとに行われる中学校の教科書の改訂にあわせ、令和7年度から市内中学校の教師が授業や教材研究などに使用する教科書及び指導書、各約1200部を、改訂の前年度である令和6年度末までに購入するため予算額が補正されました。

第95号議案

手数料条例の一部を改正する条例について

可決

コンビニエンスストア等に設置してある多機能端末機により交付する証明書に係る手数料を、コンビニ交付の利用促進及び市役所窓口での証明書交付業務の円滑化に向け、2年間減額するものです。

令和7年4月1日から令和9年3月31日までの間、戸籍証明書が、現行450円から350円、所得課

税証明書、住民票の写し、印鑑登録証明書が、現行300円から200円となります。

第96号議案

都市公園条例の一部を改正する条例について

可決

中央公園の運動用夜間照明施設のLED化にあたり、電気料金や他市類似施設の状況を踏まえ、使用料を次の表のとおり改定するものです。

■中央公園運動用夜間照明施設の使用料

区分	現行	改定案
1時間まで	8,240円	3,500円
以後30分毎	4,120円	1,750円

第97号議案

地域包括支援センターの運営及び人員に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

可決

国は地域包括支援センターにおいて人材確保が困難となっている実情を踏まえ、

・運営等協議会で必要と認められた場合、すべての職員の労働時間から「常勤の職員が何人働いている

か」に換算（常勤換算方法）して配置基準を満たすことができるようにする。

・現行の3職種の配置基準を原則としつつ、地域の実情に応じて複数拠点で合算して3職種の配置を可能とする。

といった柔軟な配置が可能となるよう介護保険法施行規則の一部改正を行いました。それに伴い本条例も改正するものです。

第98号議案

福祉応援券支給条例の一部を改正する条例について

可決

現在、障がい者手帳所持者等を対象に福祉応援券を支給していますが、障がい者手帳の新規取得者の約半数が65歳以上の高齢者となっており、今後もこの状況は続くものと見込まれます。こうした中で、65歳以上の高齢者については高齢者福祉サービスの枠組みの中で様々な生活支援が提供されることから、令和7年4月1日以降新たに障がい者手帳等を取得し、65歳に達する前日までに応援券の支給申請を行わなかった者は支給の対象外とするものです。

一般質問

今回の定例会では、18人の議員が市の考え方や方針など、市政全般にわたり、31項目の一般質問を行いました。



道風くん

市政全般にわたる問題について質問します

一般質問は、市当局に対し施策・事業などの現状や将来計画の考え方など、市民に密着した問題をただすため行うものです。

各議員の質問と当局の答弁を、要旨で掲載しています。

(一般質問については、質問者から提出された原稿で掲載しています。)

質問の様子を録画(YouTube)でご覧いただけます。

1 検診(高血圧基準、胃バリウム検査の代替え検査)について

質問者 無会派 奥村 昇次

担当 健康増進課



録画▶

【質問】高血圧基準は「140/90mmHg以上」,対応基準は「160/100mmHg以上は医療機関受診を勧奨」であるが、高血圧と心配し病院にかかると降圧剤服薬を勧められることがある。降圧剤には脳梗塞、認知症のリスクを心配する説があり、市の高血圧判断と高血圧疾患患者への対応を問う。

【答弁】総合保健医療センターの人間ドックの健診結果は、血圧値が160mmHg以上のD判定の方には、精密検査依頼書を郵送し、医療機関への受診勧奨を行い、上の血圧が140以上160未満、下の血圧が90以上100未満のC判定の方には、医師が必要に応じて生活習慣の改善や医療機関への受診を勧めています。なお、血圧値が160mmHg未満の方に一律に高血圧と判断し、降圧剤を勧めることはありません。



2 春日井市勝川駅前地下駐車場及び春日井市勝川駅南口立体駐車場の利用料金について

質問者 無会派 犬塚 たかし

担当 経済振興課



録画▶

【質問】住民負担を増やすことなく住民サービスを充実させるためには、税外収入を増やす必要があり、両駐車場料金は貴重な財源である。先の定例会にて料金を改正することを決定したが、社会変化の速度を鑑みると、条例改定を要せず料金改定を可能にしておくなど、柔軟な対応が必要であると考え、今後利用者が減少した場合など、どのような対応になるか問う。

【答弁】令和7年度から両駐車場の定期使用料を値上げするにあたり、現在の定期利用者に対し、使用料改定後の継続利用についてアンケート調査を実施しており、現時点においては、利用者数への影響は限定的であると見込んでいます。今後、改定後の利用状況を注視しつつ、必要に応じて対策を検討していきます。



3 地蔵川の桜について

質問者 無会派 はせ かずや

担当 公園緑地課



録画▶

【質問】1年前、県尾張建設事務所から古い桜樹木伐採の相談が町内会にあった。地蔵川沿線4区長が会議をし樹木の調査、将来の方向や意向調査を実施して保全を決定。その直後に東京日野市の落枝死亡事故や異常気象による事故多発により県は桜伐採へ大きく方針変更。将来、桜の景観を復旧するにあたり、県に河川占用許可申請する際の課題について市のご所見を問う。

【答弁】市が河川占用許可を申請するにあたっては、河川堤防に新たに植樹をするための国の通達基準を満たす必要があるほか、桜の木の管理や除草などを地域において実施していただくことが前提となり、将来に渡って継続して実施できる体制の整備などが課題と考えられます。

【その他の質問事項】 ■内津北山最終処分場について

4 自転車の安全利用に関する理解増進について

質問者 公明党 大村 まさと

担当 市民安全課



録画▶

【質問】改正道路交通法が施行され、自転車利用者への罰則が強化されたことに戸惑いや不安の声が多く聞かれます。車やバイクと違い自転車には免許制度がなく、多くの利用者は自らの法的な責任や事故発生時の対処方法について十分な知識を持っていないというのが現状です。その為、交通安全教室等において教育内容の強化に取組むべきと考えるが本市の見解を問う。

【答弁】交通安全教室等は、社会状況に応じて随時内容を見直すことが必要であり、先般の法改正を踏まえ、自転車の法的位置づけや利用者の責任に関する項目を今まで以上に重視していきます。また、交通事故の事例紹介のほか、事故の当事者になった際の対処方法等が容易に分かる資料を作成して解説するなど、参加者がより一層自分事として捉え、運転者としての責任意識が向上するよう、内容の充実に努めていきます。



5 不妊への理解促進に向けたプレコンセプションケアの周知と不妊治療休暇の企業への理解促進について

質問者 公明党 日比野 なるとし

担当 こども家庭支援課・経済振興課

録画 ▶



【質問】日本は不妊治療大国でありながら、その成功率は低く、妊娠前の健康管理を行うプレコンセプションケアの重要性が高まっているが、その認知度は不足。また、不妊治療と仕事の両立が困難と感じる人が約4人に1人おり、柔軟な勤務形態や休暇制度の整備が求められている。プレコンセプションケアと不妊治療休暇制度の周知について、本市の取り組み状況を問う。

【答弁】本市では、プレコンセプションケアにあたる様々な取組を実施する中で、男女を問わず若いころから健康の維持・促進に取り組むことが不妊の予防や健やかな妊娠・出産にもつながることを周知しています。不妊治療と仕事の両立については、本年度から取り組んでいる「働きやすい事業者のPR事業」を通じ、不妊治療を受ける労働者への配慮も含め、働きやすい職場環境づくりが促進されるよう、関係機関等と連携して、周知・啓発していきます。



6 スフィア基準に対応する避難所環境の整備について

質問者 自由クラブ 金沢 はるき

担当 市民安全課

録画 ▶



【質問】石破首相は所信表明演説の中で、災害関連死ゼロを実現すべくスフィア基準(国が現行の避難所運営指針として参考にしてしている国際基準)を踏まえ避難所の在り方を見直すとして訴えました。直接死より災害関連死の方が4倍多かった2016年の熊本地震を考えると、避難所の環境改善は必要不可欠です。本市のスフィア基準に対する認識と基本的な考え方を伺います。

【答弁】スフィア基準は、災害関連死を防止し、避難所の生活環境を整えるための一つの参考にすべき基準です。本市では、面積要件からしてこの基準を満たすことが困難な状況であり、発災後は、避難者の分散化や避難所の追認により基準を満たす避難所運営をめざすこととしています。今後も国の支援や他自治体の動向などを注視しながら、基準を満たす避難所の設置が、できるだけ速やかに行えるよう研究していきます。



7 ユニバーサルデザイン化の推進について

質問者 公明党 いしとび 厚治

担当 福祉政策課・教育総務課・施設管理課・市民安全課

録画 ▶



【質問】ユニバーサルデザインは、全ての人が利用しやすいように設計されたデザインで、誰もが快適に利用できることを目指している。この考え方の基、本市において、①障がい者や高齢者等が横になってのおむつ交換や着替えに利用されるユニバーサルシートの普及について。②災害弱者の方々でも使用できるトイレトレーラーの導入について、本市の見解を問う。

【答弁】①学校施設については、スペースがなく新たにユニバーサルシートを設置する予定はありません。学校以外の公共施設については、建替えや大規模改修などに合わせ、規模や構造、利用者のニーズに応じて設置を検討します。②現在、車椅子対応型の要配慮者用トイレを配備しているほか、折り畳みベッドを代替設備として活用できるため、導入は考えていませんが、今後も国等の補助制度や他自治体の状況等を注視していきます。



8 選択的週休3日制について

質問者 春日井自民クラブ かじた 正直

担当 人事課

録画 ▶



【質問】選択的週休3日制の市の考えるメリット、デメリットについて問う。また、制度は慎重に検討すべきと考える一方、導入をしなければ先進的な自治体としてのイメージを獲得しにくく、時代遅れの印象を若者や移住希望者に与え、保守的な自治体として停滞する印象を与えるが、すべての部署で一斉に導入するのではなく、一部で試行導入を行う考えはあるのか問う。

【答弁】育児や介護等の事情がある職員の離職防止や就職希望者に選ばれやすい自治体になるメリットの一方、窓口開設日の1日を職員が休暇日とすることによる他の職員の負担増や、保育園や市民病院など法定の配置基準がある職場では増員が必要になるデメリットが考えられるため、現時点では週休3日制の導入は考えていません。導入を検討する際は、一部の職場で試行し、その効果を検証したうえで判断します。



9 地域クラブ活動(部活動の地域移行)について

質問者 市民クラブ 小原 はじめ

担当 学校教育課

録画 ▶



【質問】部活動の地域移行に伴い昨年10月から春日井市教育委員会が直接運営する「地域クラブ活動」がスタートするなか、①指導者の育成②競技別指導者資格取得③中体連が主催する全中において2027年から9競技が実施されないがその見解④地域クラブの運営費・指導者報酬・施設利用料負担について現在の状況と令和10年10月以降の対応をそれぞれ問う。

【答弁】①現在、市教育委員会では指導員の育成は行っていません。②指導者資格については、地域クラブを指導する上で必要としておらず、自主的に取得している場合もあると聞いています。③各連盟や各競技団体の動向を注視しています。④現在、運営費は保護者が、指導員報酬は市が負担し、施設利用料負担はありません。令和10年10月以降は、運営費や指導員報酬は、保護者が負担する会費を想定し、施設利用料は今後検討していきます。

【その他の質問事項】 ■生成AIの活用について

10 本市における住宅セーフティネット制度の取り組みについて

質問者 公明党 田口 よしこ

担当 住宅政策課

録画 ▶



【質問】令和6年、住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給の促進に関する法律(住宅セーフティネット法)が再度改正。単身世帯の増加や持ち家率の低下等、今後高齢者、低所得者、障がい者等の住宅確保要配慮者の賃貸住宅への居住ニーズが高まる。本市において①住宅確保要配慮者の把握②住宅確保要配慮者への具体的対応③居住支援協議会の設置について問う。

【答弁】①各所管で支援等の相談を受けており、一元的な把握はしていません。②市営住宅への入居案内等の情報提供を行うとともに、生活に関する支援が必要な場合は、住宅、福祉部門等で連携し対応しています。③現在策定を進めている「春日井市住生活基本計画」において、市民の皆様が住み慣れた春日井市で住まいを確保し、住み続けるための施策の一環として、居住支援協議会の設置についても検討していきます。



11 地域クラブ活動について

質問者 橙進クラブ 鈴木 秀尚

担当 学校教育課

録画 ▶



【質問】女子サッカーとダンスが子ども達の希望により、連盟や外部講師を指導員として新しく創設された。部活動数の減少により、既に市内に少なくなってしまった陸上や合唱部等のような部活についても、2つの新クラブと同様に、空白地域へクラブを創設すべきと考えるがどうか。また中学生対象に実施している意向調査の対象を小学生高学年まで広げる考えについて。

【答弁】地域クラブの創設については、希望が多いものの、その地区にない地域クラブについては、指導者や実施場所などを考慮しながら、その地区の拠点となる中学校に設置することを検討していきたいと考えています。また、アンケートについては、本年度も中学1年生と2年生を対象に実施することとしています。小学生高学年の児童へのアンケートについては、実施に向けた効果的な手法を検討していきます。



12 春日井まつりオープニングセレモニー来賓の件

質問者 無会派 小嶋 小百合

担当 市民生活課

録画 ▶



【質問】今年の春日井まつりは衆議院議員選挙の選挙期間中に行われました。選挙には4人が立候補していましたが、オープニングセレモニーには4人のうち、ひとりだけが来賓として招待されました。行政の政治的中立性の観点から、春日井市が選挙期間中に立候補者のうちひとりだけ招待するのは不適切ではないか。ひとりだけを招待するに至った経緯及び、見解を問う。

【答弁】令和6年度の春日井まつりオープニングセレモニーには、地元選出の国会議員、県議会議員のほか、全ての市議会議員に対し、8月20日に出席を依頼しております。その後、10月9日に衆議院が解散したため、丹羽秀樹氏においては、前衆議院議員の立場で10月19日に出席いただいたものです。また、セレモニーでは、氏名をアナウンスするのみの予定であったため、選挙活動にはあたらないと考えています。

【その他の質問事項】 ■平和教育 ■広報春日井に関する問題

13 本市におけるコミュニティ・スクールの取り組みについて

質問者 橙進クラブ 鈴木 たかゆき

担当 学校教育課

録画 ▶



【質問】地域と学校とが連携して課題の解決にあたる新しい学校の形態である「コミュニティ・スクール(C・S)」が本市ではまだ1校しか実現していない。地域コーディネーターは市内20校に存在しているため、もう少し展開速度が上がっても良いと考えますが、本市のこれまでの見解と今後の展開について考えを問う。

【答弁】C・Sの効果的な運用には、学校と地域を円滑につなぐ人材や、推進体制づくりが重要で、まずは、学校地域連携協議会(連携協議会)を立ち上げることとしています。藤山台小・中学校でも8年間の活動を経て導入に至っています。C・Sを増やすには、学校と地域との信頼関係を深める連携協議会の設置が重要で、地域コーディネーターがいる学校には連携協議会の設置意向の確認を、連携協議会を設置した学校にはC・Sの導入提案をしていきます。



14 児童生徒に対するより良い教育環境について

質問者 無会派 すずき あきのり

担当 学校教育課

録画 ▶



【質問】国の研究開発学校に指定されている、出川小学校と高森台中学校では、全国的に見ても先進的なカリキュラムを作り、ICTを活用することで児童生徒が主体性を持って学べる教育を実現できているところが素晴らしいと考えています。このような魅力ある学校の情報を広く市内外へ発信し、知ってもらうことが本市の発展に大きく寄与すると思うが見解を問う。

【答弁】2校のICT教育の取組は、文部科学省のHPで発信されているほか、市教育研究所のHPでも発信しています。この2校には、全国から学校関係者がたびたび視察に訪れており、令和6年11月1日には、研究開発学校研究発表会を開催し、全国各地から約800人の参加がありました。令和7年度にも研究発表会の開催を予定しており、本市のICT教育の推進は全国的にも先進的な取組であるため、積極的に全国へ発信していきます。

【その他の質問事項】 ■事務事業の評価と仕組みについて

15 春日井市民納涼まつりについて

質問者 市民クラブ 鈴木 ひろゆき

担当 市民生活課

録画 ▶



【質問】今回の花火を中止した理由は、雑踏が起きての事故を防ぐためですが、雑踏での事故は花火が直接原因ではないと考えられます。春日井市民納涼まつりにおいて花火大会を復活させ、クラウドファンディングで協賛を募ることについて考えをお尋ねいたします。

【答弁】来年度につきましては、市民の皆様や関係者の方々から寄せられたご意見やご要望等を参考にしつつ、「安全安心に楽しんでいただくまつり」とすることを最優先とする中で、改めて開催内容を検討していきたいと考えています。また、クラウドファンディングを利用したまつりへの協賛金の募集につきましては、他自治体の状況を踏まえながら、調査研究していきます。

【その他の質問事項】 ■自転車通学と交通安全指導について
■災害時の共助力の強化について

16 子どもの貧困対策について

質問者 共産党 伊藤 建治

担当 地域共生推進課・教育総務課・子育て推進課

録画 ▶



【質問】貧困の連鎖を断ち切り子どもたちが望む未来を切り開く力を付けるための事業として実施されている学習支援事業は今年から5か所に拡充されたが、44人が利用できなかった。箇所数、定員の拡充の考えを問う。高校生世代への支援、給付金型奨学金、子育て支援団体への支援の拡充について問う。財源となる寄付金を積み立てる基金を創設する考えを問う。

【答弁】学習支援の実施場所や利用定員は、事業の効果的な実施方法や財源確保を検討し、高校生世代への支援は必要な調査研究を行います。国などの奨学金制度が充実してきている中、本市独自で給付型の奨学金制度の創設は考えていません。子ども・子育て支援団体補助金については、引き続き支援のあり方を調査研究します。これまでふるさと納税の寄附金を子育て訪問支援事業などに活用してきたため、基金の創設は考えていません。

【その他の質問事項】 ■PFAS汚染について ■下水道事業について
■学校へ行けない子どもたちの支援について

17 保険証が廃止されたことによる春日井市の対応について

質問者 共産党 石田 裕信

担当 保険医療年金課

録画 ▶



【質問】①マイナ保険証の登録解除ができるようになりました。市では窓口での受付とともに郵送での対応も行っていますが、利便性を考えオンラインによる申請受付を行ってはどうか。②国やマスコミ等で保険証廃止後の医療機関のかかり方等の周知が行われているが、それでも間違えて保険証を捨ててしまう方がいる。市のHPや広報での今後の周知予定について問う。

【答弁】①マイナ保険証の登録解除手続きについては、あいち電子申請・届出システムを利用したオンライン申請の準備を進めています。②マイナ保険証でなくても医療を受けられることは、市のHPや広報による周知に加え、窓口においても丁寧に説明しています。令和7年7月末の国民健康保険証の廃止時においても国保加入者の方々が混乱しないよう、周知啓発に努めていきます。

【その他の質問事項】 ■地球温暖化対策について

18 国民健康保険について

質問者 共産党 原田 祐治

担当 保険医療年金課

録画 ▶



【質問】国保税の大幅値上げで「払えない」という声が出ている。一般会計からの繰り入れ継続で負担軽減すべき。新たな財源は必要ない①所得の少ない人への軽減制度を作る考えについて、できるのにやらない理由について②子どもの均等割を軽減する考えについて③国の方針よりも速いペースで値上げする理由、来年度からの値上げを中止する考えについてそれぞれ問う。

【答弁】①基金を取崩し赤字補填するなど厳しい財政状況のため、さらなる減免制度の創設は考えていません。②国の制度に基づき令和4年度から未就学児の均等割額を5割減額していますので、市独自のさらなる減免は考えていません。③現行税率を維持した場合、基金が枯渇し国保財政の破綻が見込まれたため、国や県の方針に従い税率改定に取り組む他自治体同様、本市も段階的に改定を進める必要があると考えています。

【その他の質問事項】 ■義務教育の費用負担を軽減することについて
■日曜窓口等の体制の見直しについて



議会中継(YouTube)視聴のご案内 —QRコードの読み取り方—

カメラを起動し、紙面のQRコードにスマートフォンを向けてください。

かすがい市議会だよりでは、議会中継(YouTube)を視聴していたけよう、QRコードを掲載しています。ぜひご覧ください。

QRコードの読み取り方

1. スマートフォンのカメラを起動
2. カメラをQRコードにむけて読みとる
3. ホームページが表示される

※機種によって操作方法が異なります。視聴には通信料がかかります。※QRコードは㈱デンソーウェーブの登録商標です。

令和7年第1回定例会予定

- ▽2月14日(金) 10:00～ 本会議(市政方針説明)
- ▽2月18日(火) 10:00～ 本会議(市政方針に対する質問)
- ▽2月19日(水) 10:00～ 本会議(市政方針に対する質問)
(提案理由説明)
- ▽2月20日(木) 10:00～ 本会議(提案理由説明)
- ▽2月25日(火) 10:00～ 本会議(質疑、委員会付託)
予算・決算委員会前期全体会
- ▽2月27日(木) 9:00～ 文教経済委員会・分科会
- ▽2月28日(金) 9:00～ 厚生委員会・分科会
- ▽3月 3日(月) 9:00～ 建設委員会・分科会
- ▽3月 4日(火) 9:00～ 総務委員会・分科会
- ▽3月 6日(木) 10:00～ 予算・決算委員会後期全体会
- ▽3月10日(月) 10:00～ 本会議(一般質問)
- ▽3月11日(火) 10:00～ 本会議(一般質問)
- ▽3月13日(木) 10:00～ 本会議(採決)

※議事の都合により、日程が変更になる場合があります。

委員会開催状況

令和6年第4回定例会閉会後に行われた委員会は、次のとおりでした。

- 文教経済委員会(11月11日)
報告事項
 - 1 日曜窓口等の体制の見直しについて
 - 2 かすがいいいきポイント事業について
 - 3 小学校・中学校の適正規模等の基本的な考え方(中間案)について
 - 4 春日井市立郷土館の跡地の整備について
- 厚生委員会(11月12日)
報告事項
 - 1 (仮称)春日井市地域共生プラン2025(中間案)について
 - 2 総合的な福祉拠点整備基本構想(中間案)について
 - 3 (仮称)かすがいこどもんなかプラン(中間案)について
 - 4 母子の家の今後の方向性について
- 建設委員会(11月13日)
報告事項
 - 1 公共交通整備に係る要望活動報告について
 - 2 落合公園再整備基本設計(中間案)について
 - 3 第2次春日井市公共下水道事業経営戦略(中間案)について
- 総務委員会(11月14日)
報告事項
 - 1 第3期春日井市まち・ひと・しごと創生総合戦略(中間案)について
 - 2 令和6年度人事院勧告の概要について
 - 3 春日井市特別職報酬等審議会の答申について
 - 4 春日井市国民保護計画の変更について

第5回定例会中に行われた委員会・分科会は、次のとおりでした。

- 予算・決算委員会(12月2日、11日)
- 文教経済委員会・分科会(12月4日)
- 厚生委員会・分科会(12月5日)
- 建設委員会・分科会(12月6日)
- 総務委員会・分科会(12月9日)

お知らせ

議場の天井改修工事のため、令和7年1月中旬から8月末頃まで議場の使用ができません。本会議の開催場所が変更になることに伴い、傍聴席の定員が縮小されますのでご了承ください。

傍聴の詳細は、こちらをご覧ください。



表紙写真募集

募集する写真

応募者が、春日井市内において概ね1年以内に撮影した未発表のもの。

応募方法

持参、郵送またはEメールにて、写真と所定の応募用紙を、議事課まで提出してください。また、応募作品は原則返却しません。

応募締切

5月発行第133号の表紙写真を2月19日まで受付しています。

※応募に関する詳細は、春日井市議会ホームページをご覧ください。
なお、編集の都合により、公募写真以外の内容が表紙となる場合があります。



編集後記

昨年は、アメリカ大統領選挙、国内では、衆議院選挙だけでなく、大きな話題となった東京都知事選挙や兵庫県知事選挙など、選挙というものが市民の皆さんの話題に上がる機会が多々ありました。共に今までにない新しい手法や価値観での選挙だったと振り返ります。
 SNSが当たり前の時代に、そこに対応していない今の選挙ルール。一体何のためのルールなのか考えさせられます。
 市民の皆さんが今年も安心安全で生きがいを感じられるような生活ができるように議員一同、今までの慣習に囚われすぎることなく、明るい未来のための今を大切に活動していきたいと思えます。
 本年もどうぞよろしくお願いたします。
 編集委員一同

■視覚障がいのある方に、本紙を音読した「声のかすがい市議会だより」(カセットテープ又はCD)を郵送します。事前に登録が必要です。ご希望の方はご連絡ください。

